

④ 自然教育園におけるジョロウグモの観察

渡 邊 昭 廣*

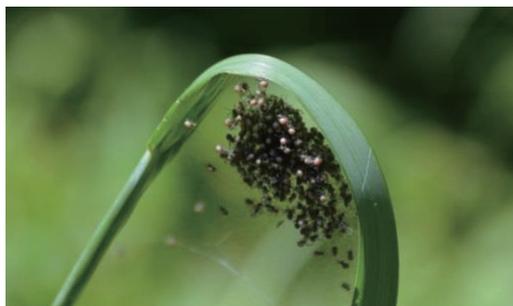
Akiro Watanabe*

はじめに

自然教育園では7月中旬から10月にかけて木々の間に大きな網を張るジョロウグモをいたるところで見ることが出来ます。園内で見られたジョロウグモを2014年から2015年にかけていろいろ撮影しましたのでこれをまとめてみました。

ジョロウグモの生態

① ジョロウグモの誕生



5月中旬になるとジョロウグモの子が集団でいるのが見られます。



クモの子の集団はちょっと触れると〈クモの子を散らす〉ように散らばっていきます。

*東京都品川区, Shinagawa-ku, Tokyo

② ジョロウグモのオスとメス



8月頃のメスとオス
余り大きさに差はありません。



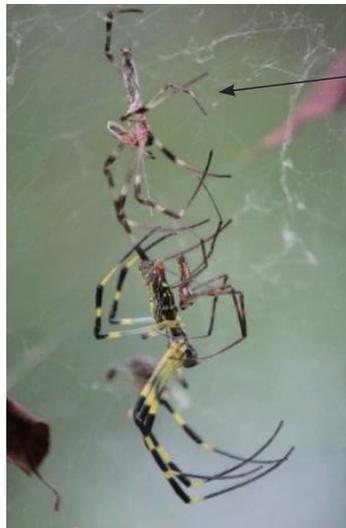
9月頃のメスとオス
メスが大きくなり大きさの違いがはっきりしてきます。



10月頃になると卵が入った腹部は非常に大きくなり、黄色とうす青色の縞模様で腹部に赤い斑点のある美しいクモとなります。

③ クモの交接

9月中旬頃になるとジョロウグモが交接している姿を見ることが出来ます。
メスが最終脱皮をした後、或いはメスが餌を食べている時にオスが近づき交接します。
生殖器はオスの触肢にメスは腹部にあります。昆虫の交尾とはすいぶん違います。



メスの上に脱皮殻が見られます。

④ ジョロウグモの網

ジョロウグモの巣は縦糸はほぼ平行で横糸は楽譜の五線のようにつけられ、全体が下方に広がった馬蹄形の網をしています。また、前後に補助網を張り付け三重になっています。



クモが巣を張っているところ。



子グモの網は直径 15cm で、上部も横糸があり、円網のように見えます。

⑤ ジョロウグモの餌

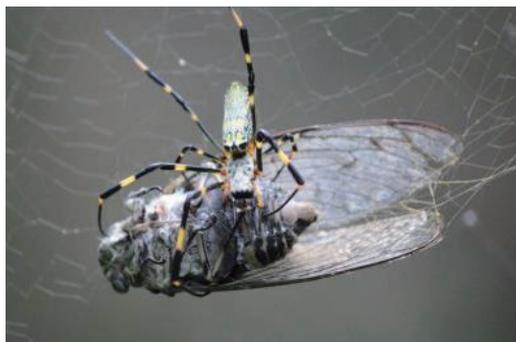
ジョロウグモが網にかかるいろいろな虫を食べる姿を見ることが出来ます。

クモが虫を食べるときの行動



アオバハゴロモが網にかかる。ジョロウグモは獲物に直行しかみつき、糸をかける。そして、いったん獲物から離れる、しばらくして食べ始める。

クモが成長すると糸をかけることはありません。



ミンミンゼミ



シオカラトンボ



アオスジアゲハ



ツマグロヒョウモン



カメムシの仲間



アオマツムシ

⑥ 音叉による実験

音叉の振動が網に伝わり、網に獲物がかかったと思いきモが近づきます。しかし、獲物でないとわかると元に戻ります。



音叉を網にあてる。



餌と思いき叉にクモが近づく。

⑦ ジョロウグモの冬越し

園内であれほど多くいたジョロウグモですが、冬は卵で越冬します。冬に卵のうを捜してもなかなか見つけることはできません。



謝 辞

この撮影記録をまとめるにあたり、ご指導いただいた矢野亮名誉研究員にお礼を申し上げます。

